

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	月1回の定例会議と臨時会議等を併用させ、利用者と職員が地域に密着するための検討と、利用者の安全・安心の上での幸せとは何かを話しあった結果から「平凡でも自分の思いに添った生活」にあると独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は独自で作り上げた理念を生かすため、何度も話し合いの場を設け、理念が実際に利用者の生活で生かされているかを確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や施設周辺の畑主にお茶等を出したり、作物を頂いたりと交流を重ねながら地域住民との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価および外部評価を実施することで利用者の安心、安全な生活につながると確信しており見直しと改善に取り組んでいる。		

宮崎県日向市 グループホームよりあい

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で利用者の情報やサービスの実際、外部評価への取り組み状況について話し合っており、そこでの意見等が、サービスの質の向上に生かされている。		運営推進会議等への家族の参加者がもっと増えるように、時期、曜日、時間設定の工夫が望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも、市町村担当者とは行事や会合等に参加し、行き来する機会を作り市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	よりあい便りや近況を写した写真、健康状態、金銭管理等の内容について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事や集会・面会の自由参加を呼びかけ、管理者や職員ならびに外部者へ自由に意見が言える場を提供し、また、意見の出しやすい雰囲気づくりに努めている。その意見等は運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限に抑えるため、職員の意見、希望をできるだけ聞き、職場環境を整えたり、業務の見直し等を実施している。生じた場合には、利用者や家族に理由を説明し納得を得てダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内・外の研修をできるだけ多く取り入れられるよう年間計画に組み込み、職員の段階に応じた育成ができるよう図っている。また、働きながらトレーニングしていくことを推奨している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は自らはもとより、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会をもち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問の活動を通して、サービスの質を向上させる取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスを利用する以前に、利用者・家族に施設見学を通して、利用者や職員の様子、雰囲気等を知ってもらい除々になじめるよう家族等と相談しながらの工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は介護される一方の立場におかず、何事にも一緒に過ごしながら、喜怒哀楽を共にし、家族同様支えあう関係を築いている。また、人生経験豊かな先輩として、昔の郷土料理の作り方等さまざまな経験を学ぶ機会を作っている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向は本人や家族から聞き取ったり、日々の生活の様子を記録に取りながら、管理者及び職員全員で把握することに努めている。困難な場合は、本人本位に検討を重ねている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人はもとより家族、必要な関係者と衣食住に関わる出来、不出来、アイデア等を立場の違いから細かく検討し介護計画書に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に3か月ごとに見直しを行っている。見直し以前に生じた変化に対しては、緊急会議等で本人、家族、必要な関係者と話し合い現状に即した新たな計画書が作成され、介護計画書に変更が記されている。		3か月ごとの見直しや見直し以前に生じた変化に対しても事細かく検討され記載されているが、一連の関係書類が順序よく見やすい流れに構成されることを希望したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の心身の状況にアクシデントが生じた場合、希望により家族と食事や就寝を共にし、また、遠方の家族には利用者との宿泊を提供している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	過去の病歴や検査データの多い掛かりつけ医への受診支援を、本人及び家族の希望により支援している。月1度の定期健診や受診を通して現状を報告しながら関係を築いている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した利用者の介護を最後まで見た経験から、人のふれあいは病院より手厚い介護ができる自身があるが、医療の支援が得にくい現状で、今後の対策等を病院へ協力依頼している。ホームでは、方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしていない。また、来客時における利用者のプライバシーに関わる発言等が無いよう徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしを優先し、希望に沿ったお芝居や音楽鑑賞、ドライブを行っている。1対1の寄り添いケアであったり、家族ぐるみであったりの支援をしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	今日の献立の食材を昔の食べ方は塩だけで美味しかったとか、あるいは、野菜の育て方等、食育の場になっている。利用者のいちばんの楽しみであり、好みが変わり献立に活用されている。利用者が利用者をお世話し職員と利用者のコミュニケーションが取れて楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やその日の健康状態で入浴、足浴、清拭を取り入れタイミングを図り楽しい支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの職歴、食歴、生活歴を生かした気晴らしや楽しみの支援をしている。その人の力量に合わせ掃除や草取り等の役割がある。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	おやつ買いの代表者を決めたり、季節変わりに衣類交換の帰宅、墓参り、ふるさとのお祭りへの参加等、戸外に出かけられるよう、きめ細かな支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門、玄関、窓、すべてオープンである。		

宮崎県日向市 グループホームよりあい

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	地域の防災訓練に参加したり、定期的にホーム独自の訓練を実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の年齢に相当した食品構成で献立作成し、また、栄養のバランスや水分量の管理をしている。また、習慣に応じた支援と摂取量、尿量、排便量を記録し個別支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は不愉快な音もなく、光の強さは目にやさしく配慮されている。周囲の自然を取り込み、居ながらにして季節感を感じられる。また、生活感が感じられる植物や小物が飾られ居心地よく過ごせる工夫がしてある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と家族で相談しながら、使い慣れたたんすや写真、仏壇を生かし、自宅のような雰囲気や居室を利用してもらっている。		

※  は、重点項目。